

平成 25 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	建設緑政局道路河川整備部道路整備課	要素事業所管課	建設緑政局道路河川整備部道路整備課 建設緑政局道路河川整備部道路施設課 建設緑政局道路河川整備部河川課 まちづくり局総務部企画課 麻生区役所まちづくり推進部企画課 教育委員会教育環境整備推進室
----------	-------------------	---------	---

1 計画の概要

計画の名称	新百合ヶ丘駅周辺地区都市再生整備計画	計画の期間	平成20年度～平成24年度
計画の目標	大目標：個性豊かな文化芸術振興の拠点づくりと併せた安全で快適な交通環境の向上 目標1：広域的な道路ネットワークの形成や生活道路の利便性向上による道路交通環境の向上 目標2：歩行空間の移動等円滑化による安全性・快適性の向上 目標3：市民との協働による芸術のまちづくりの推進		
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・新百合ヶ丘駅の1日平均乗降客数を108,803(人/日)から120,000(人/日)へ向上させる。 ・新百合ヶ丘駅周辺の移動時間を20分から12分へ短縮させる。 ・バリアフリー基本構想における生活関連経路の整備率を0%から100%へ向上させる。 ・芸術のまちづくりの拠点となるアートセンターの年間入場者数を17,000(人/年)から22,000(人/年)へ向上させる。 		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の移動等円滑化による安全性・快適性の向上を目的として、新百合ヶ丘駅に近接する上麻生2号線の歩道改築事業の追加を行った。さらに、広域的な道路ネットワークの形成という目的から、麻生区南部地区と駅へのアクセス路線である菅早野線の整備事業を追加した。 		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況(概要)

上段：路線全体事業費 下段：計画期間(5カ年)での事業費

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	道路事業、街路事業、地域生活基盤施設、高質空間形成施設	7,947,000 (6,583,000)	11,632,000 (4,624,000)	4,624,000	40% (100%)	すべての事業が完成している。
B(提案事業)	芸術のまち普及促進事業、準用河川麻生川水辺空間整備事業、小中学校整備事業	875,000 (875,000)	901,000 (901,000)	901,000	100% (100%)	すべての事業が完成している。
全体事業費(A+B)		8,822,000 (7,453,000)	(12,533,000) 5,525,000	5,525,000	44% (100%)	

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新百合ヶ丘駅の平均乗降客数(人/日) ・新百合ヶ丘駅周辺の自動車における移動時間の短縮(分) ・バリアフリー基本構想における、新百合ヶ丘駅周辺の歩行空間整備率(%) ・芸術のまちづくりの拠点となるアートセンターの年間入場者数(人/年) 			
定義及び算定式	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急電鉄(株)が公表している平成24年度の新百合ヶ丘駅の平均乗降客数(人/日) ・山口台南側交差点から麻生警察署前交差点までの市道万福寺王禅寺線の平均移動時間を計測(分) ・新百合ヶ丘駅南口のペDESTリアンデッキ等の改修及びエレベーター2基の整備率(%) ・市民・こども局市民文化室が把握しているアートセンターの年間入場者数(人/年) 			
その指標を設定した理由	<ul style="list-style-type: none"> ・駅の乗降客数によって、広域拠点形成の指標として設定した。 ・道路整備による道路交通環境向上に関する指標として設定した。 ・歩行空間の整備やエレベーターの設置による移動円滑化の推進により、歩行者の安全性・快適性の向上に関する指標として設定した。 ・アートセンターの利用者数によって、芸術のまちづくりの推進の指標として設定した。 			
当初現況値(H19)	中間目標値	最終目標値(H24)	実績値(確定)・見込	目標達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・108,803(人/日) ・20(分) ・0(%) ・17,000(人/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・— ・— ・— ・— 	<ul style="list-style-type: none"> ・120,000(人/日) ・12(分) ・100(%) ・22,000(人/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・122,763(人/日) ・5(分) ・100(%) ・63,948(人/年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・達成 ・達成 ・達成 ・達成
目標達成状況に対する所見	<ul style="list-style-type: none"> ・新百合ヶ丘駅のエレベーター設置やペDESTリアンデッキの改修及び駅周辺の情報板設置によって、バリアフリー化、サインの充実が図られ、駅利用者及び歩行者に対する歩行空間環境が改善されたことにより、歩行者の安全性・快適性が向上し、駅の乗降客数及びアートセンターの利用者が増加した。 ・駅周辺の道路整備により、道路交通環境が改善され、駅へのアクセス路線である、万福寺王禅寺線の自動車による移動時間が大幅に短縮された。 			
将来の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の道路交通環境が改善されたことにより、バスの定時運行が可能になり、将来的にはバスの平均乗車人数が増加し、駅周辺施設へのアクセス性がさらに向上することが考えられる。そのため、文化芸術振興の拠点づくりと併せた安全で快適な交通環境の向上が図られる。 			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	・市道上麻生21号線等における自動車の交通量の減少
定義及び算定式	・平成19年度及び平成22年度に、市道上麻生21号線等の混雑時における自動車の交通量を測定。
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	・市道上麻生21号線等においては、車道部分の幅員を減少し、歩道部分を拡幅する整備を行い、歩行者の安全性向上を図ることを目的としたため、自動車の交通量の減少が事故の防止や歩行者の安全性向上に資する指標として設定した。
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	・混雑時における1時間あたり交通量 平成19年度：711台 平成22年度：549台 162台減 ・歩道改築後に自動車交通量が減少したことにより、歩行者の安全性が向上した。

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	・市民意見 内容：市のホームページにおいて、事業目的、事業概要、事後結果を掲載し、市民からの意見を募集。 手法：担当課への意見書の郵送、FAX、メール、提出などによって意見を募集。 実施期間：9月1日～9月30日
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	・市民意見 3件の意見が寄せられ、バリアフリー化や活性化に関する肯定的な意見が見られた。 計画目標である「広域的な道路ネットワークの形成や生活道路の利便性向上による道路交通環境の向上」、「歩行空間の移動等円滑化による安全性・快適性の向上」、「市民との協働による芸術のまちづくりの推進」を継続していく方針である。

6 今後の方針等

総合的な所見	<p>本計画は「広域的な道路ネットワークの形成や生活道路の利便性向上による道路交通環境の向上」、「歩行空間の移動等円滑化による安全性・快適性の向上」、「市民との協働による芸術のまちづくりの推進」を目標としており、評価指針として「新百合ヶ丘駅乗降客数(人/日)」、「移動時間の短縮(分)」、「誰もが移動しやすい歩行空間整備率(%)」、「アートセンター利用者数(人/年)」を設定した。「新百合ヶ丘駅乗降客数(人/日)」、「移動時間の短縮(分)」、「誰もが移動しやすい歩行空間整備率(%)」、「アートセンター利用者数(人/年)」のいずれも目標を達成しており、全体的に効果が見られた。</p> <p>また、評価指標以外の事業効果では、市道上麻生21号線等の歩道改築後に自動車交通量が減少したことにより、歩行者の安全性が向上した。</p> <p>市民の意見把握の結果、バリアフリー化や活性化に関する肯定的な意見が得られ、事業効果はあったといえる。</p>
<p>今後の方針</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>次期計画 あり(なし)</p> </div>	<p>都市再生整備計画としての基幹事業である道路事業に関しては、事業期間内の目的（用地取得や歩道部分の工事完了等）を達し、計画として目標とする整備内容までは完了したが、事業箇所ごとの道路整備としては、路線の整備を完了できていない箇所もある。</p> <p>それらの箇所については、道路事業に関する社会資本総合整備計画において事業を引き継ぎ、道路整備を推進する予定である。</p>